

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	新妻 徹	会員番号:	5868	事務局整理記入欄	北海道 - 132
分水嶺区分:	135台地~H176蕨岱	(3)山行日:	2005年	3月	16日	(4)天候	晴れ・積雪 2m

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

新妻 徹	5868			藤内 英夫	11883		
赤石 喜恵子	8477						
		計	2名			計	1名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	知来6線 最奥人家 135台地 送電線 151.4 T字路(R5・R9)												
アプローチ:	札幌 中山峠 豊浦 長万部 H176蕨岱 (往復)												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	最奥人家	黒松内	140	20	33.4	42	37	0.5	112		11:20		8(1)
分水嶺到達点	135台地	黒松内	140	20	59.0	42	37	7.2	145	12:00	12:10	B-4	
	送電線	黒松内	140	20	14.8	42	37	13.8	119	12:40	12:50	B-4	8(2)
	151台地	黒松内	140	19	59.8	42	37	17.0	147	13:10	13:20	B-4	
	131台地	黒松内	140	19	33.8	42	37	24.6	125	14:00	14:10	B-4	9
	151.4	黒松内	140	19	8.2	42	37	40.5	158	14:50	15:00	B-4	7
分水嶺離別点H176	T字路(R5・R9)	黒松内	140	18	51.4	42	37	44.0	107	15:20	15:30	B-4	8(3)
歩行終了点	R9(町界)	"	140	18	21.8	42	38	5.9	106	16:00			8(4)
総歩行時間(休憩時間を除く):												3時間50分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
	151.4		不明	不明	積雪量約2mのため確認不能

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

(1)幹線配水路「第24号、曲点φ150×450」の標識がある。
(2)135台地と151台地の中間付近を北電送電線が横断しており、「道南幹線191号」(昭和56.12)から、NW Wへ屈曲している。
(3)R5とR9のT字路になっている。
(4)長万部町と黒松内町の町界線がR9を構成している。R9西側に駐車場がある。

(9)水および植生に関連した特記事項

131台地から 151.4の間はトド松の植林が多い。

(10)その他の特記事項

久しぶりの快晴に恵まれ、スノーシュー踏査としては順調であったが、もし天候が悪化すればマップリーディングの難しい台地が続く中央分水嶺である。
蕨岱神社で待機される藤内氏の車(ウイングロード)が心強く、充実したトレースとなった。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: